

タマサート大学からの学生招聘

タマサート大学大学院工学研究科（タイ）の修士課程学生2名が、本プログラムの短期交換留学生として2ヶ月間（平成20年11月11日～平成21年1月10日）来日しました。

1) 2名のそれぞれの日本での研究概要は、次の通りです。

・ Mr. Thanavuth Reaungrojana

日本の降雨特性を調べ、タイ国チェンマイ、及びバンコク地域の特性との比較を行なった。

また日本とタイの特徴的降雨に対する、洪水時の河川流量評価の研究を行なった。

さらに、日本において、地球温暖化が降雨特性の変化に現われているかを調べた。

・ Ms. Natkritta Sukasem

バンコク地域においては、地下水が重要な水資源となっている。しかし、過剰な地下水揚水は、

地下水位の低下や地盤沈下の原因となり、適正に管理することが重要である。同君は、埼玉大

学で開発した地下水管理システムについて勉強し、それをバンコク地域に適用する。

2) 2名による研究発表会を、次の通り実施しました。

①中間発表会

日時 : 平成20年12月17日(水) 10:00～11:30

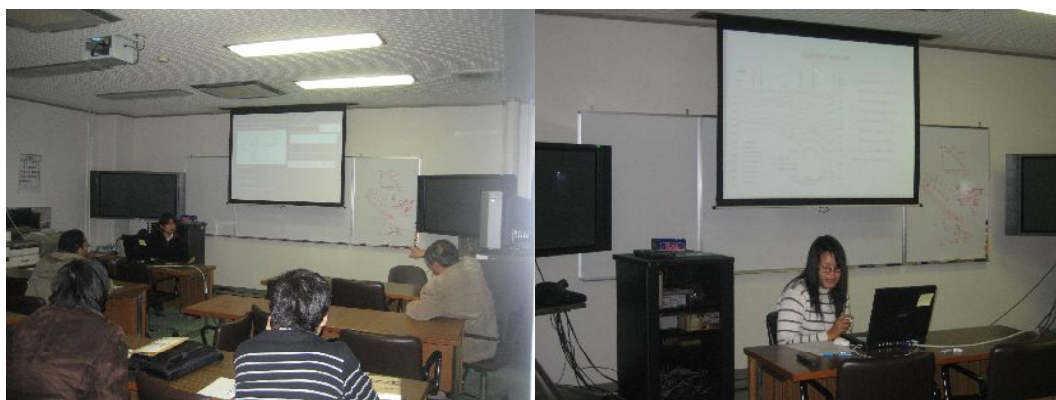
場所 : 埼玉大学地圏科学研究センター 3階セミナー室

発表1. “Development of Intensity Duration Frequency curves researcher to progress the research in Thailand and Japan using scaling GEV”

By Mr. Thanavuth Reaungrojana

発表2. “Groundwater Monitoring System Base on Artificial Neural Network Model”

By Ms. Natkritta Sukasem



中間発表会にて発表の様子

② 最終発表会

日時 : 平成21年1月7日(水) 10:35~11:45

場所 : 埼玉大学地圏科学研究センター 3階セミナー室

教員並びに修士学生が多数参加する中、日本で行った研究とその成果が発表されました。

発表1. "On the comparison of statistic features of rainfall between Thai and Japan – Basic information for flood control"

By Mr.Thanavuth Reangrojana

発表2. "Analysis of groundwater level fluctuation in the Bangkok area by GA and ANN"

By Ms.Natkritta Sukasem



発表後の質疑応答